

第16回 市長と話そうの様子

開催日時	2025年11月19日(水) 18:00 ~ 19:30	場所	臼杵市役所 臼杵庁舎 中会議室
団体名	臼杵市母子寡婦福祉会		
団体概要	ひとり親家庭(※)の支援：フードパントリー、ランドセル譲渡、進学祝い、おさがり会、クリスマス会、勉強会、他の団体主催のイベント・制度のご案内 普及啓発活動：活動の理解・会員の募集・資金集めの協力 ※ひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)とは・・・離婚、死別、未婚等の理由で配偶者がいない女性又は男性が主に20歳未満の子どもを養育している家庭		
話し合いのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の現状・困りごと ・臼杵市に協力してほしい 		
参加者	10名(団体メンバー11名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、団体の活動やひとり親家庭の現状や困りごとなどについて、意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・ 臼杵市は母子家庭に対する経済的支援は充実している。一方で、子どもの預かり環境について、もう少し充実して欲しいと考えている。夜間や土日・祝日の預かり対応について、もう少し柔軟に預けられる場所があれば、ひとり親家庭も安心して働くことができるのではないかと感じている。
- ・ 私の場合は子どもが生まれた時から、ほぼ母子家庭だった。幸い近くに両親が住んでいたので助けを借りることはできたが、『母子家庭だから仕事を休むだろう』と周囲から見られたくないという思いもあり、病児保育などを使いながら、子どもの用事でも仕事を休まないよう、かなり無理を重ねてきた記憶がある。正社員でフルタイム勤務という責任ある立場だったので、どうしても子どもと過ごす時間が少なくなってしまった。
- ・ 夫を30代という若さで突然亡くし、当時は何から手をつければよいのか分からず、途方に暮れていた。そんな折、親族から仕事の誘いを受け、パートタイムからスタートして、その後、正社員として働くようになった。決して楽な道のりではなかったが、年金等の安定した生活基盤を築くことができ、今となっては良い選択だったと感じている。身内が協力してくれたことも大きな支えになった。
- ・ 母子寡婦福祉会の中にはひとり親家庭が悩みや情報を気軽に共有できる居場所として「キラキラ☆(ぼし)会」を設け、フードパントリーやクリスマス会などの各種イベントを開催している。本当に困っている人たちにこの会の存在を広く周知していきたいので、ご協力お願いしたい。
ひとり親家庭になった人たちが、手続きなどで市役所に来庁した際に、目のつくところに、キラキラ☆(ぼし)会のチラシを置いてほしい。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ 本日の懇談の中で、お母さん方が抱える苦しい胸の内を伺った。『正社員だから休めない』という社会の空気そのものが問題で、男性を含め、誰もが子育てのために当然のように休暇を取れる雰囲気をつくってこなかった、私たち世代の責任は重いと感じている。公的な資金を投入するだけでは、人々の意識は変わらないので、経営者層の意識改革を促し、働き方そのものを変えていくことに注力したい。国レベルの議論を待つだけでなく、この臼杵市から率先してその空気を変えていきたいと考えている。
- ・ 「市長と話そう」を開催したことが市報に載るので、そこでキラキラ☆(ぼし)会のことに触れば、一定の周知につながると考えている。市役所での手続きの際に目につく場所に、チラシを置く等の対応は検討していきたい。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

